

小規模企業景気動向調査

[平成16年12月期調査]

景気後退の気配が強まる小規模景況

平成17年1月14日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象:全国約300商工会の経営指導員

調査時点:平成16年12月末

調査方法:対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体>

12月の小規模企業景気動向調査によると、産業全体のD.I.(景気動向指数・前年同月比)は、売上額がマイナス20.5(前月比マイナス4.1ポイント)、採算がマイナス28.1(同マイナス5.7ポイント)、資金繰りがマイナス27.4(同マイナス6.1ポイント)、業況がマイナス30.2(同マイナス5.1ポイント)となり、全ての項目で悪化した。製造業は原材料高騰と受注単価の下落により採算が悪化、建設業は相変わらず公共工事が減少しているという回答が多く、小売業及びサービス業では暖冬の影響により悪化傾向が強まった。今月期は、全ての業種で悪化しており、景気後退が顕著に表れた調査結果となった。

<製造業>

製造業については、売上額がマイナス5.7(前月比マイナス5.7ポイント)、採算がマイナス23.9(同マイナス9.5ポイント)、資金繰りがマイナス19.5(同マイナス4.9ポイント)、業況がマイナス22.2(同マイナス10.0ポイント)となった。自動車関連の製造業など一部の業種では回復傾向にあるとの回答があったものの、引き続き原材料等の価格高騰の影響が大きいとの回答が多く、業況の2桁ダウンを筆頭に全ての項目で悪化した。

<建設業>

建設業については、完成工事額がマイナス23.3(前月比マイナス1.1ポイント)、採算がマイナス36.0(同マイナス4.5ポイント)、資金繰りがマイナス38.1(同マイナス6.3ポイント)、業況がマイナス37.2(同マイナス2.5ポイント)となった。一部の地域では市町村合併に伴う特需が出始めているという回答が見られたものの、需要の低迷に加え、競争の激化により事業者間格差が広がっているとの回答が多く、資金繰りを中心に全ての項目で悪化した。

<小売業>

小売業については、売上額がマイナス29.2(前月比マイナス5.6ポイント)、採算がマイナス32.2(同マイナス6.7ポイント)、資金繰りがマイナス31.1(同マイナス6.7ポイント)、業況がマイナス35.5(同マイナス6.1ポイント)となった。期待していた歳末商戦でも大型店に押されてしまい、衣料品小売業は暖冬の影響で冬物の売上が伸び悩んでいるとの回答が多く、全ての項目で悪化した。

<サービス業>

サービス業については、売上額がマイナス23.8(前月比マイナス3.7ポイント)、採算がマイナス20.4(同マイナス2.2ポイント)、資金繰りがマイナス20.9(同マイナス6.5ポイント)、業況がマイナス25.9(同マイナス2.1ポイント)となった。飲食業は忘年会シーズンであるが消費者の動きは依然として低調であり期待外れの結果、旅館業は雪不足のためスキー場近辺でも予約が埋まらず稼働率が前年割れとなっており厳しいとの回答が多く、全ての項目で悪化した。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	11月	12月	前月比	11月	12月	前月比	11月	12月	前月比
売上額	16.4	20.5	4.1	0.0	5.7	5.7	22.2	23.3	1.1
採算	22.4	28.1	5.7	14.4	23.9	9.5	31.5	36.0	4.5
資金繰り	21.3	27.4	6.1	14.6	19.5	4.9	31.8	38.1	6.3
業況	25.1	30.2	5.1	12.2	22.2	10.0	34.7	37.2	2.5

業種	小売業			サービス業		
	11月	12月	前月比	11月	12月	前月比
売上額	23.6	29.2	5.6	20.1	23.8	3.7
採算	25.5	32.2	6.7	18.2	20.4	2.2
資金繰り	24.4	31.1	6.7	14.4	20.9	6.5
業況	29.4	35.5	6.1	23.8	25.9	2.1

注)D.I.(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

問い合わせ先:振興部 振興課 渡部 TEL:03-3503-1256(直通)

E-mail: ml-sinkou@shokokai.or.jp